

災害に強い地域づくり 災害に備え さまざまな取り組みを紹介

坂東市防災パトロール員 大規模停電などに備え研修会を開催



9月25日、日常に欠かすことのできない電気について「停電の予防と復旧」をテーマに、市防災パトロール員と市職員を対象に研修会が開かれ、災害時の対処法などを学びました。

研修会は、東京電力パワーグリッド株式会社竜ヶ崎支社、土浦支社から講師を招き、電力システムの停電復旧や配電設備（電線など）に倒れた樹木の伐採などの講義が行われ、電気に対する安全な対処方法について理解を深めました。また講義後には、V2L（電気自動車からの給電システム）の活用方法を見学し、大規模停電などに備えたさまざまな方策を学びました。

坂東市防災パトロール員とは

平成27年9月関東・東北豪雨の被害を受けて、市では防災体制強化のため、各地区に「坂東市防災パトロール員」を配置し、災害時に被害状況の収集をしています。



七郷小学校で 「水害を想定したマイ・タイムライン」を作成



9月15日、七郷小学校では、5・6年生を対象に、近くを流れる利根川の洪水を想定した「マイ・タイムライン」を作成する授業を行いました。

七郷小学校区には、利根川の浸水想定区域になっている地域があります。児童たちは、ハザードマップで自宅が浸水する区域かを確認したうえで、どのタイミングで避難を開始するか、どんな準備が必要かなどを学習し、逃げ遅れがないよう避難行動を確認しました。



「お荷物を不在の為持ち帰りました。下記よりご確認ください」は宅配業者を騙る偽メールです